



A群溶血性連鎖球菌咽頭炎に注意しましょう



県内の患者数

Table with columns for disease name, this week, last week, and symptoms. Includes rows for Influenza, RS Virus, Strep throat, etc.

インフルエンザ 報告が多い感染症 感染性胃腸炎 A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

大きな流行が発生又は継続しつつある地域 インフルエンザ : 八代

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

Table showing occurrence by health center. Columns include center name, Influenza, RS Virus, Strep throat, etc.

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

Large table showing occurrence by age group. Columns include age ranges from 0-5 months to 80+ years.

感染方法

飛沫感染: せきやくしゃみなどに含まれる細菌によって感染します。 接触感染: 排出された細菌が手などを介し、口に入ることによって感染します。

治療

- ・ 抗生剤の投与を行います。有効な抗生剤の治療を開始後、24時間経過すれば人へうつる可能性はほとんどなくなります。
・ 合併症を防ぐため、症状が改善しても病院の先生が指示する期間は抗生剤を服用してください。

予防方法

手洗い、うがいなどの一般的な予防対策が有効です。咽頭痛がある場合は早めに医療機関を受診しましょう。

A群溶血性連鎖球菌咽頭炎に注意しましょう



今週のA群溶血性連鎖球菌咽頭炎の報告数は121件で、幼児~学童のお子さんからの報告が多くなっています。警戒レベルに達している地域はありませんが、春から夏、及び冬の2つの時期をピークとして流行がみられます。
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎とは、A群連鎖球菌という細菌が感染することにより、高熱・のどの痛みを主症状とする急性の感染症です。いずれの年齢でも起こり得ますが学童期のお子さんに多くみられます。主な症状はおよそ1週間ほどで改善しますが、リウマチ熱や急性糸球体腎炎などの合併症をおこすことがありますので注意が必要です。

